



心も体も元気なふなぼりーと

令和8年 6月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども
園長 東 美和

～公園に行きましょう!～

自転車置き場やなかよし門前のアジサイのつぼみが大きくなり、あと少しで水色や紫の花が咲きそうです。園庭にはアゲハチョウが飛んできて、ミカンの木にアオムシがくっついているのを見かけました。園内の自然の変化から、初夏の訪れを感じています。

5月上旬に行った親子ふれあいの日では、たくさんの保護者の皆様にご協力いただき、子どもたちが園内のオリエンテーリングを楽しみました。その中の「足育コーナー」で、子どもたちが徒歩遠足で行った公園で遊んでいる写真パネルを展示しました。その写真を見て、「こんな公園が近くにあるんですね。行ったことがないです。」「遠足に子どもが行った後、とても楽しかったと言うので、休みの日に親子で行って来ました。」という声を聞きました。

江戸川区にはたくさんの公園があります。江戸川区のSDGsビジョン「2030年の江戸川区」では、『区内には誰もが集える公園がたくさんあります。「ゆたかな心 地にみどり」という(区)のスローガンが脈々と受け継がれ、子どもから高齢者、障害のある人などが多様に集い、触れ合える公園がたくさん生まれています。～中略～公園の面積は23区内で一番広い、都市と自然が調和したまちになっています』と示しています。

園から徒歩15分程の位置にある行船公園は、季節の花々やたくさんの木々に囲まれた池で、子どもたちは岩跳びや石渡りを楽しめます。隣の自然動物園で、かわいい動物を見たり、動きに興味関心をもったりすることもできます。また、正門前の新川沿いを歩いて行くと、新川西水門広場(火の見やぐら)があり、石垣に囲まれた広場を歩くだけで『気分は忍者』になれます。

先日新聞記事に、「公園は『走る』『跳ぶ』などの基本的な運動を親子で楽しめる絶好の場所です。公園で体を動かして遊ぶと熟睡しやすく、成長ホルモンが分泌されます」「遊ぶ時には親も楽しそうな様子を見せましょう。そうすれば、子どもも外遊びをしようとする気持ちが高まります」とありました。(読売新聞4月30日付 早稲田大学名誉教授 前橋明氏より)

江戸川区に住んでいる良さを生かして、ぜひ身近な公園へ遊びに行き、お子さんとの触れ合いをたくさん楽しんでください。



星の組
ミニトマトを育てよう



ばら組
野菜に水をあげようね



なかよくなる会
一緒にダンスをしました